

# 文化・芸術の催し

## 谷崎潤一郎記念館の催し

問い合わせ 谷崎潤一郎記念館 ☎23-5852/☎38-3244  
 ✉ashiya-tanizakikan@rhythm.ocn.ne.jp (〒659-0052 伊勢町12-15)

### 【ロビーギャラリー展】須藤絢乃 写真展「てりはのいばら」

■会期 11月9日～12月10日 ■会場 ロビーギャラリー ■内容  
 2014年の写真新人賞「キヤノン写真新世紀」グランプリを射止めた現代美術家、須藤絢乃氏。本展では谷崎潤一郎の「細雪」の四姉妹を一人で演じ分けた写真をお見せします。旧家の誇りを体現する長女鶴子、情感豊かな次女幸子、内気で芯の強い三女雪子、行動的な現代っ子の四女妙子…。谷崎が描いた四様の美しさが現代の視点で再解釈されます。 ■参加費 要観覧料 ■問い合わせ 上記へ



須藤絢乃

### 【ギャラリートーク】 須藤絢乃トークショー

■日時 11月13日(日)午後2時～4時 ■会場 講義室 ■内容 ロビーギャラリー展を開催中の須藤氏が、自作を分かりやすく解説します。「細雪」の登場人物になりきる楽しさや苦労など、創作の秘密が明かされます。 ■定員 30人(予約優先)  
 ■参加費 1,000円(観覧料込み) ■申し込み&問い合わせ 上記へ

【開館時間】午前10時～午後5時(入館は4時30分まで) 【11月の休館日】7日・14日・21日・28日(月) 【観覧料】一般400(320)円、大・高生300(240)円、中学生以下無料※( )内は20人以上の団体料金※高齢者(65歳以上)および身体障害者手帳・精神障害者保健福祉手帳・療育手帳をお持ちのかたとその介護のかた1人は各当日料金の半額

## 第27回 富田碎花賞 受賞作品決定

問い合わせ 生涯学習課 ☎38-2115

■受賞作品 井上嘉明氏『宙吊り』 ■受賞作品講評 井上嘉明さんの詩集『宙吊り』は、寓意の斬新さと、言葉に対する真摯な思いに充ちています。詩に織り込まれているのは、生と死、あるいは存在の意味といった深い抽象の世界ですが、言葉は実に平明で、題材は、日常の領域を離れず、詩人の身体を通して紡がれています。詩は日常の中に胚胎し、しかも日常をはるかに超えた世界にまで達するという詩の醍醐味をまさに証明してみせた詩集と言えるでしょう。  
 ■選考委員 鈴木 漠(詩人)、たかとう 匡子(詩人)、時里 二郎(詩人)〈五十音順〉



### 受賞者プロフィール 井上 嘉明 (いのうえ よしあき) 氏

昭和10年11月生まれ。鳥取市在住。日本現代詩人会・日本詩人クラブ・中四国詩人会各会員、詩誌「日本未来派」・「菱」同人、文芸誌「流水群」編集同人に。「日本未来派」などの詩誌同人として、また日本現代詩人会などの詩人団体に所属しながら詩作品を発表。『封じ込めの水』など詩集10冊。評論集『鳥取の詩人たち その他』。平成17年、詩集『地軸にむかって』で第5回中四国詩人賞を受賞。



### 第27回 富田碎花賞贈呈式

■日時 11月12日(土)午前10時30分～ ■会場 市民センター 401室 ■贈呈賞 正賞(賞状)・副賞(50万円)

富田碎花賞は、富田碎花の生誕100周年を記念して創設されました。今年も全国から89詩集の応募がありました。今回の受賞・応募詩集は、11月16日(水)から富田碎花旧居で1年間展示します。

■開館日時 毎週水・日曜日 午前10時～午後4時(入館は3時まで)※ただし12月25日～平成29年1月4日を除く

### 碎花を知る会

■日時 11月13日(日)午後1時30分～ ■会場 富田碎花旧居 ■内容 「歌風土記」の講座 ■費用 500円 ■申し込み & 問い合わせ 富田碎花顕彰会・平野 ☎080-6155-1316

## CATV 芦屋市広報番組 あしやトライあんどぐる 11月〈前半〉

オープニング 朝日ヶ丘公園

トピックス 第28回あしや秋まつり

特集 これからも地域とともに～民生委員制度、創設100周年～

お知らせ 特定健康診査・後期高齢者医療健康診査の受診期間がまもなく終了します  
 議会報告会を開催します

エンディング 芦屋の四季

《放送時間 15分》

①午前9時

②正午

③午後3時

④午後6時

⑤午後10時

※DVDの貸出可

■広報番組「あしやトライあんどぐる」は、11ch(一部地域を除く)でご覧ください。  
 ■番組に関する問い合わせ 広報国際交流課 ☎38-2006 ■CATV全般に関する問い合わせ J:COMカスタマーセンター ☎0120-999-000(午前9時～午後6時)

## 美術博物館の催し

問い合わせ 美術博物館 ☎38-5432/☎38-5434  
 (〒659-0052 伊勢町12-25)

### 展覧会 芦屋市立美術博物館&大阪新美術館建設準備室 共同企画 「未知の表現を求めて—吉原治良の挑戦」展関連イベント

#### ●学芸員によるギャラリートーク

■日時 11月23日(水・祝)午後2時より ■会場 ホール・第1展示室・第2展示室 ■内容 本展担当学芸員(芦屋市立美術博物館、大阪新美術館建設準備室)による展示解説。 ■参加費 要観覧料

### 2016年秋 ART MARKET あしやつくる場

■日時 11月12日(土)・13日(日)午前10時～午後4時 ■会場 当館前庭(雨天中止)一部実施の催しもあり。(中止は、午前7時30分の時点の天気決定し、当館ホームページでお知らせします) ■内容 誰かがつくったものに触れたり、自分自身でつくことにチャレンジしてみたり、「つくる」ことから生まれる喜びや発見を共有するイベントです。手づくり品や食品、古書の販売ブースの他、



ワークショップや音楽演奏など。 ■出演 【11月12日(土)】午前11時～正午・ウミネコ楽団/午後1時～2時SANDHYA 【11月13日(日)】午後1時～2時・トリオ・サント・ムジカ/午後3時～4時・ゆうぎ(オオルタイチ+YTAMO)



前回のあしやつくる場の様子

【開館時間】午前10時～午後5時(入館は4時30分まで) 【11月の休館日】7日・14日・21日(月)28～30日(展示替えのため) 【特別観覧料】一般800(640)円、大・高生500(400)円、中学生以下無料※( )内は20人以上の団体料金※高齢者(65歳以上)および身体障害者手帳・精神障害者保健福祉手帳・療育手帳をお持ちのかたとその介護のかた1人は各当日料金の半額

### 美術博物館・公開セミナー

■日時 11月6日(日) 午前10時～11時30分  
 ■会場 市民センター 203室  
 ■テーマ 吉原治良と芦屋 一具体美術協会からルナ・ホールまで  
 ■講師 美術博物館学芸員 國井綾氏  
 ■申し込み 直接会場へ(定員60人)  
 ■問い合わせ 公民館 ☎35-0700



吉原治良

### 公民館講座 没後20年 司馬遼太郎の見た『坂の上の雲』から日本を考える

■日時 12月9日・1月6日・2月3日・3月3日(金)〈全4回〉午前10時～11時30分 ■会場 市民センター 401室 ■定員 80人(応募者多数の場合抽選) ■講師 産経新聞特別記者・編集委員・安本寿久氏 ■受講料 1,600円(4回分) ■申し込み 講座名・住所・氏名・電話番号を記入の上、はがきかファクスで11月5日(土)までに下記へ ■問い合わせ 公民館 ☎35-0700/☎31-4998(〒659-0068 業平町8-24)